

第2回 第6期雄武町総合計画策定審議会 議事録

【日 時】 平成28年12月 1日(木) 19:00～20:40

【場 所】 雄武町民センター 2F会議室

【出席者】 委員 相坂 英代 委員 石橋 啓文 委員 大場 道子 委員
大星 幸恵 委員 河島 仁 委員 桑井 美彦 委員
佐々木伸行 委員 汐後 克也 委員 高橋 進 委員
田口 洋 委員 直井 香織 委員 中島 克弥 委員
新山 貴文 委員 福士登美夫 委員 三河 貴明 委員
山片 正晃 委員 渡邊 恵 委員 渡部 康太 委員
欠席者 加藤 孝義 委員 工藤 瞳 委員 久保 毅剛 委員
鉄川 潤 委員 安田 将治 委員

町若手職員（まちづくり職員研修として参加）

山口 季江	結城 直也	本村 昂平
早坂 卓	毛利 宗義	一ノ戸千尋
蛭子 恭祐	田中あゆみ	西方 苗
藤澤 健人	中西 巖太	今 良太
田中 良平	夏坂 泰輔	長谷川 潤
小俣 博和	桜井 麻有	上田 悠平

事務局 佐々木財務企画課長 大水財務企画課長補佐
砂原企画調整係

株式会社ぎょうせい総合研究所 主任研究員 今中 英二 氏

【会議次第】 1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事

【報告事項】

- ・雄武町人口ビジョンについて

【協議事項】

- ・ワークショップについて

雄武町ワールドカフェ「まちづくり短歌を創ろう！」

4. その他
5. 閉会

- 【配布資料】**
- ・第6期雄武町総合計画第2回策定審議会議案
 - ・まち・ひと・しごと創生雄武町人口ビジョン
 - ・雄武町ワールドカフェ「まちづくり短歌を創ろう！」実施要領
 - ・まちづくりワールドカフェ（町民とのワークショップ）参加者（役場職員）

【議事録】

1. 開会

（佐々木財務企画課長）

皆様、お晩でございます。定刻になりましたので、第2回雄武町総合計画策定審議会を開催いたします。本日はお忙しい中、また夜分にも関わらずご出席いただきまして誠にありがとうございます。

皆様には既にグループごとの配置で座られていますが、今回はグループワーク形式で会議を進めたいと考えております。題しまして、雄武町ワールドカフェ「まちづくり短歌を創ろう！」ということです。グループワークにつきましては、後ほど会議の中で説明させていただきますが、今回グループワークの進行をお願いしております(株)ぎょうせいの今中研究員を紹介いたします。

（今中主任研究員）

今中と申します。よろしくお願いたします。

（佐々木財務企画課長）

今中研究員につきましては、後ほどグループワークの進行をお願いいたします。今回は初めての試みですが、将来の雄武町を担う役場若手職員も、委員の皆様と同様にグループワークの参加を予定しています。どうぞ皆様よろしくお願いたします。初めて接する方もいると思いますので、役場若手職員から自己紹介を、「所属」、「氏名」、「出身地」をお願いいたします。

（田中（良））

皆様、こんばんは。建設水道課の田中良平と申します。出身地は雄武町です。

よろしく願いいたします。

(本村)

皆様、こんばんは。財務企画課財政係兼企画調整係の本村昂平と申します。出身地は空知の秩父別町です。よろしく願いいたします。

(一ノ戸)

皆様、こんばんは。住民生活課戸籍住民係の一ノ戸千尋と申します。出身地は雄武町です。よろしく願いいたします。

(蛸子)

皆様、こんばんは。住民生活課環境衛生係兼住民活動係の蛸子恭祐と申します。出身地は厚真町です。よろしく願いいたします。

(小俣)

皆様、こんばんは。教育委員会生涯教育係の小俣博和と申します。出身地は旭川市です。よろしく願いいたします。

(早坂)

皆様、こんばんは。財務企画課企画調整係の早坂卓と申します。出身地は置戸町です。よろしく願いいたします。

(山口)

皆様、こんばんは。総務課庶務係兼職員厚生係の山口季江と申します。出身地は雄武町です。よろしく願いいたします。

(長谷川)

皆様、こんばんは。町有施設整備室建築係の長谷川潤と申します。出身地は札幌市です。よろしく願いいたします。

(夏坂)

皆様、こんばんは。町有施設整備室建築係の夏坂泰輔と申します。出身地は名寄市です。よろしく願いいたします。

(毛利)

皆様、こんばんは。税財管理課管財係の毛利宗義と申します。出身地は遠軽町です。よろしく願いいたします。

(西方)

皆様、こんばんは。保健福祉課社会福祉係の西方苗と申します。出身地は雄武町です。よろしくお願いいたします。

(田中 (あ))

皆様、こんばんは。保健福祉課保健係兼保育所児童保育係の田中あゆみと申します。出身地は網走市です。よろしくお願いいたします。

(中西)

皆様、こんばんは。産業振興課商工観光係の中西徹太と申します。出身地は雄武町です。よろしくお願いいたします。

(今)

皆様、こんばんは。産業振興課商工観光係兼林務係の今良太と申します。出身地は雄武町です。よろしくお願いいたします。

(上田)

皆様、こんばんは。消防の上田悠平と申します。出身地は兵庫県です。よろしくお願いいたします。

(桜井)

皆様、こんばんは。教育委員会図書業務係兼生涯教育係の桜井麻有と申します。出身地は山梨県ですが、育ちは雄武町になります。よろしくお願いいたします。

(藤澤)

皆様、こんばんは。保育所の藤澤健人と申します。出身地は北見市です。よろしくお願いいたします。

(佐々木財務企画課長)

若手職員の皆様よろしくお願いいたします。早速ですが、議案の会議次第に入ります。最初に河島会長から御挨拶を申し上げます。

2. 会長挨拶

(河島会長)

お晩でございます。時節柄お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。また、本日は雄武町役場より、この雄武町の10年後、20年後を担う若い方々にもお集まりいただきました。

本日の議事につきましては、報告事項が1件、協議事項が1件です。皆様におかれましては、何かご意見やわからないことがありましたら、自由にご発言をいただきたいと思います。それでは議案に基づきまして、早速会議に入っていきます。議案の報告事項の「雄武町の人口ビジョンについて」事務局から説明をお願いいたします。

3. 議事

【報告事項】

・雄武町人口ビジョンについて

(大水財務企画課長補佐)

皆様、こんばんは。本日のメインはワークショップということになりますが、第6期雄武町総合計画は人口減少対策が大きなテーマになりますので、配布しました雄武町人口ビジョンについて説明をいたします。

雄武町の人口ビジョンということですが、日本の人口は平成20年を境に人口減少に転じております。この人口減少問題は政令市を除くほとんどの自治体が抱えている共通の悩みです。本町としましても、この6期総合計画の10年の間で人口減少に歯止めをかける必要があると思っています。この雄武町人口ビジョンについては、今年の3月に策定したものです。ワークショップに入る前に、委員の皆様、若手職員の皆様と雄武町の人口について共通認識を図りたいと考えています。

3頁の人口の動向ですが、一貫して人口減少が続くということで、下図のグラフのとおり、30年前の1985年では6,567人いた人口が、2014年には、4,610人となり、約2,000人の3割が減少しています。このグラフの2005年と2010年の間の急激な減少については、中堅大手のオホーツクニチロが撤退したことにより、就業者の60～70人や家族を含め多くの人口が減少しました。一つの大きな会社が無くなると、雄武町の人口に影響を与えることがわかります。また、気になる点は、年少人口(0～14歳)のグラフですが、30年前の1985年は1,294人いましたが、2014年には508人までに減り、786人と6割も減少し、危機感を感じるころです。

4頁の人口ピラミッドですが、平成17年から既にピラミッドの形状では人口減少傾向に伴う「きのこ型」を示しています。平成26年の人口ピラミッドでは、さらに若者の人口が減り、顕著にグラフに表れており、少子化対策をさらに強化させる必要性を感じるグラフとなっています。

6頁の婚姻ですが、近年、未婚率が急上昇しており、下図を見てのとおり、20～24歳と25歳～29歳のグラフが男女ともに未婚率が上昇しています。また、30～34歳と35～39歳のグラフの部分では、多少凹凸はありますが横ばいに推移しています。また、気になる点は、平成22年の男性の35～39歳の部分では、37%と約4割が未婚の状況であり、さらに5年前と比べて5%上

昇しています。

7 頁の一人の女性が一生に産む子どもの平均数を示す合計特殊出生率ですが、雄武町では、全道平均、全国平均よりやや上回っています。下図の数値が示すとおり雄武町の 25 年前は、合計特殊出生率は 1.83 人、現在は 1.48 人です。他市町村と比較すると、隣の興部町では 1.61 人です。ちなみに、道内で一番高い町は、日高管内のえりも町で 1.9 人。次いで、新ひだか町では 1.8 人、それから宗谷の猿払村では 1.75 人、近隣の佐呂間町で 1.74 人と高い数値を示しています。これら町村の共通な特徴としては、第一次産業が強い地域であり、雄武町も産業振興によって出生率が高くなる可能性を持つ地域だと考えられます。

8 頁の出生、死亡、転入・転出の人数ですが、8 頁の上図は自然増減を表すグラフです。1 番左側の 1987 年では、年間 30 人程自然増でしたが、1990 年代のバブル崩壊の頃を契機に逆転をしまして、2014 年には 40 人ほどの自然減です。

下図の社会増減の転入・転出を表すグラフですが、30 年前の 1987 年から社会減が続いており、1997 年、2001 年、2003 年、2012 年の部分では、ほぼ増減が見られない年もありましたが、総じて、社会減ということです。この自然減と社会減の二つの痛手を受けているという現状ですが、これらは雄武町だけではなく、他の市町村でも同様の深刻な課題を抱えています。

10 頁の年齢階級別の人口動態ですが、下図のとおり 10～14 歳から 15～19 歳の急激な減少が男女ともに見られ、これについては、中学校、高校卒業の時期に進学や就職により、町外へ 40 人程転出が超過しています。それから、20 代前半から 30 代前半の男性の部分を見ると、町内への就職などにより 40 人程転入超過に対し、女性の同年代では、転出超過が見られます。この 20 代前半から 30 代前半の若い女性の U ターン、I ターンの転入の減少により、子どもの出生数にも影響を与え、少子化に拍車をかけていると思われます。

13 頁の就業率ですが、男女とも就業率は全国平均より大きく上回っています。下図の女性の 25～29 歳の部分の就業率では、平成 2 年では 52.4%、平成 22 年では 73.9%と大幅に就業率が上昇しています。これは、晩婚・未婚化、少子化に深く関係していると思われます。働く女性が増えたということは、非常に良いことですので、いかに子育てをしながら働きやすい環境づくりを進めていくことがこれからの課題になるかと思えます。

14 頁の産業別就業人口ですが、下図のとおり農業、林業、漁業といった一次産業に従事している男性が多く、また、建設業や、製造業（水産加工業）についても多く就業人口を示しています。女性については、製造業が圧倒的に多く、次いで医療・福祉分野においても多く、雄武町人口の男女別の就業の特徴を示しています。

17 頁の就業人口における業種別人口ですが、これは左右の図で 10 年間の業

種別の人口の推移を表しています。建設業においては、平成12年から平成22年の10年間で、グラフのとおり面積が少なくなっており、4割程男性の人口が減少しています。平成12年の頃は、雄武ダムの建設もあり、建設業の男性が多く就業していました。

19 ページの雄武町の人口減少をめぐる課題ですが、人口の減少傾向に歯止めをかけなければ、町が衰退し、そして、進学や就職で一度町を離れても、再び戻ってくるまちづくりが必要とされています。それから、基幹産業の振興がこれからも主軸となります。一方で、多様な産業を発展させ、雇用の受け皿を地域に作っていくことなども必要とされています。これらは、20年～30年前から長く議論され、第4期総合計画や第5期総合計画の頃から、長年の課題として、なかなか解決できずにおり、この人口減少対策は一筋縄でいかない難しい問題です。

25 ページの目指すべき人口目標と取組み方向ですが、4色で下図が示す目指すべき人口目標のグラフがあります。緑色のパターン①と青色のパターン②については、国の研究機関の推計です。青色のパターン②の2060年には、人口が1,890人に減少しています。以前、話題となりましたが、自治体消滅といった本などが出版される所となった推測です。ただ、雄武町には産業がありますので、実際この数値まで減少するかは疑問です。雄武町人口ビジョンは、赤色のパターン④の出生率1.49が1.8までに回復し、なおかつ転入・転出の社会増減が現在の-30人程の数値を±0となるよう目標としています。この赤色のパターン④が雄武町を目指すべき姿です。ただし、2060年というのは長期的過ぎるので、今から約10年後の2025年の頃に注目してください。赤色のパターン④では4,111人となり、中期的に見て約10年後も雄武町は4,000人を割り切らないという人口ビジョンを立てています。出生率は2.0を超えないと自然減が止まらないことから、現在1.8と仮定していますが、1.8を達成した場合には、さらに2.0を目指すといった見直しを図っていく必要もあるかと思っています。このパターン①～④を見ると、右肩下がりで暗いイメージを持つかもしれませんが、マイナスだとは思いません、この危機感を良い意味でプラスに転換して、雄武町の豊かな自然を活かした第一産業、子育て、教育、福祉、観光、移住など様々な分野で総合的に人口対策を進めていく必要があるということで、この後行われるワークショップや意見交換にこのような人口の情報を踏まえた上で、議論を進めていただきたいと思います。

以上で人口ビジョンについての報告事項の説明を終わります。

(河島会長)

ありがとうございました。今の報告に関しまして、みなさん、質問等ございませんか。

(出席者)

質問なし

(河島会長)

ありませんので、次の協議事項に移ります。

【協議事項】

・ワークショップ

雄武町ワールドカフェ「まちづくり短歌を創ろう！」

(今中主任研究員)

皆様、こんばんは。今中と申します。よろしくお願ひいたします。今日はワールドカフェという方法で、皆様のまちづくりへの熱い思いを短歌にして発表していただきたいという主旨になります。

私は、10年前、5年前も総合計画の策定のお手伝いをさせていただきました、5年前もこのような形でグループワークを行いました。その時は一般的な雄武町の良い所や強みや弱みを皆様で考えていただき、まず付箋に書いて模造紙で発表していただくという一般的な方法で行いましたが、前回と同様なことをしても仕方がないということ、また、私は雄武町に15年程お邪魔していますが、他の町と比較して、文化や芸術というクリエイティブな部分が少ないと感じています。例えば、木工品や雑貨屋さんです。町民センター等で皆様が趣味の活動を行っている中で、そういうクリエイティブな部分が他の町と比べて見えてこないところがあります。今回は、若い方も沢山いることから皆様で知恵を絞っていただき、新しい雄武づくりや創造的な活動を行うきっかけにしていただきたいという思いで、このようなワールドカフェの手法を取り入れて設定させていただきました。今日は「ことば」で10年後の雄武について熱く語っていただき、それを短歌にしていただきたいと思います。ワールドカフェという手法は、私自身今回初めて行いますが、やり方としてはカフェのようにリラックスして雑談をする中で、良いアイデアを出そうというものです。従来のワークショップと違うのは、席替えをして、他の班の話も聞いて自分のアイデアに取り込むところが今までのワークショップとの違いです。今回、初めてこのようなワークショップに参加した方もいらっしゃると思いますが、楽しく取り組んでいただけたらと思います。

ここで、一つ短歌の例を作ってみました。

「雄武町 知名度低い 北の町 知ってもらって 人を呼びこむ」

という歌を作ってみました。まちづくりに関しては幅広い分野があります。皆様のライフスタイルを10年後このようにしたい等の思いとその為にはこのような事を行政が支援するというのが総合計画ですので、皆様が町民の立場からこのような町にしたいということを短歌で表現していただきたいと思います。

なかなか難しいとは思いますが、よろしくお願いいたします。

(ワークショップ)

ーグループ名を決め、ワークショップ開始ー

- グループ名 A班 ゴジラの頭
- B班 ラ・ルーナ
- C班 トッカリ
- D班 ウエンコタン
- E班 ハマナス
- F班 サンジャック (フランス語でホタテの意味)

(今中主任研究員)

時間となりましたので、発表の時間に移りたいと思います。全員発表していただきたいのですが、時間も限られておりますので、それぞれの班で一人発表していただき、これを2周行いたいと思います。2周目は1周目と違う方が今日の班でのイチオシの話と一首などを発表していただきたいと思います。

それでは「ゴジラの頭班」の発表をお願いいたします。

(田中 (良))

「ゴジラの頭 中に詰まった 海・山・川・原 サンジャック」

適当に色々出た単語を使ったものです。思いとしてはゴジラの頭というのは、オホーツク管内図を絵にするとちょうど怪獣のような姿になっていまして、その一番頂点が雄武となっており、その中には海や山、川や原、サンジャックがあるということで、まとめさせていただきました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次は「ラ・ルーナ班」をお願いいたします。

(蛭子)

「うみきれい ちょうきれい むろんだよ うみといえは おうむちょう」

これはそれぞれの句の最初の頭文字を逆から読むと「おうむちょう」となっております。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次は「ウエンコタン班」をお願いいたします。

(早坂)

「スポセンの 施設の整備を 願いつつ 雄武の元気 この場所から」

保育所や児童センターは充実した設備が整っていると思いますが、スポーツセンターの設備や備品などにもう少し力を入れていただき、雄武町の健康増進や元気をこの場所からという思いで作りました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次は「サンジャック班」お願いいたします。

(夏坂)

サンジャック班ですので「サンジャック」を入れたいと思い、つくりました。「さけサーモン ほたてサンジャック 外国人にもおいしい 雄武の自慢」五・七・五・七・七を結構無視していますが、外国人の方々にも雄武の旨いものは、通じるのではないかという思いです。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。次は「ハマナス班」お願いいたします。

(高橋委員)

「広大な 土地活用の まちづくり 産業おこし 明るい未来」
雄武町には沢山の眠っている土地があります。それを活用して産業を誘致するなど、今まで長期間取組みを行ってきましたが、それが一番のまちを活気づけて、人口を増やせる課題ではないかという思いで作りました。

(今中主任研修員)

ありがとうございます。それでは最後「トッカー班」お願いいたします。

(田中 (あ))

「澄んだ空 海からのぼる 初日の出 年のはじめは 北国雄武」
今年初日の出が見たく、ホテル日の出岬に宿泊したのですが、曇っており全く見えなかったのので、いつか見たいと思いつくりしました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。皆様のそれぞれの思いが詰まっていたと思います。では、もう1周します。一首と今日の班でのイチオシの話をしていただければと思います。よろしく申し上げます。

それでは、「ゴジラの頭班」お願いいたします。

(渡部委員)

「雄武町 離れてわかる あたたかさ 戻るとおいしい サンジャック」

私の業種は、郵便局で転勤が多いのですが 17 年前に初めて雄武町に赴任して、それから色々なまちに行きました。そのなかでも、一番このまちの方々のあたたかさを感じました。それから、また雄武町に戻りまちのあたたかさに再び触れて、そしてやはりホタテがおいしかったということです。他のまちに居ても、これほどおいしい物は食べられなかったという思いが強くあり、つくりました。

この班では漁業や農地の作物が気候によって、どんどん変化しているのでそういうものを皆様で良くして新たな産業を発見できたという話をしました。

それから、初めて知りましたが雄武町の木が「トドマツ」だったということです。町の花が「ハマナス」ということは知っていたのですが、「トドマツ」がどこにあるのだろうかという話にもなりました。

(今中主任研究員)

次は「ラ・ルーナ班」です。どなたか今日話し合ったことを教えていただけますか。

(小俣)

先ほども話にありましたが、町の花ハマナスを職員でもそれほど見かけないこと、それに触れたこともないので雄武町に適しているか疑問ですが、ハマナスという単語について、もう少し知る機会があればというような話になりました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。紋別市もハマナスですが、紋別市はハマナスを維持してハマナスの油など様々な産業に活用されていますので、ぜひ雄武町でも行うのもいいかもしれません。

次は「ウエンコタン班」お願いいたします。

(山口)

「雄宝に アキアジ メジカ 同じ意味 一つの言葉も 見方次第」

同じ鮭でも言い方や物の見方が違うということを初めて知る職員がいて、今日はそういう違いがあるという話をしました。その違いを知らない人も町内外問わず結構いると思いますので、そのような違いをアピールできたら何か変わるのではないかと思います。

(今中主任研究員)

昔、「雄武ライス」というのを提案して、一度イベントの際に無料で作っていただきました。今日の食事は、昼食は「ひまわり」、夕食が「港楽」という食事処で両方オムライスを召し上がったのですが、それぞれ同じ料理なのに違

いがありました。そこで、今話を聞いて雄武のオムライスも違うというようなことを広めていただきたいと思います。

次は「サンジャック班」お願いいたします。

(毛利)

「ホタテ貝 おフランスでは サンジャック どんと来い来い 外国人よ」

雄武町は時期によっておいしいものがあり、春先にはアサリや毛ガニが取れ、海も時期によっては様々な魚が取れます。雄武町には、おいしいものが沢山ありますので、一つに絞れないところが逆に悩みの種になるという話になりました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。続きまして、「ハマナス班」お願いいたします。

(中西)

今回、私は商工観光担当であることから、まちの観光施設について厳しい意見が多々あるなかで肩身の狭い思いがあったのですが、まちで活かせるものを皆さん改めて求められていることを感じまして、雄武のうまいものを含めて、今後どうやってPRして活性化できるかを考えさせていただきました。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。最後「トツカリ班」お願いいたします。

(桜井)

今回、色々なお話を聞かせていただきまして、過去のサンライズ王国の話やその当時の今で言う「街コン」のようなイベントを開催していたという話を聞きました。昔から町外から若者を呼び込むような活動を行ってきたというのを今になって、それに携わっていた方から直接話を聞いたのはいい経験になりました。これからも、現在は「街コン」がブームになっていますけど、そういったところをまた改めて形を変えて、町外からの若い方だけではなく、逆に年配の方の定年後の移住支援のような形で、土地も沢山ありますので、そういったものをサポートし、提供していけるようなまちづくりが良いのではないかと思います。

私は図書館勤務ですが、そのような新しく来られる方たちへの情報提供や地域の方々との交流の場として、図書館として何かまちのイベントやサークルでのお知らせを発信できる場所として図書館でも改めてまちの方々との交流を考えていかなければいけないと考えさせられる時間でした。

(今中主任研究員)

ありがとうございます。事務局でも短歌を作っていたので、発表をお願いします。

(大水財務企画課長補佐)

最初に人口ビジョンの話をしましたので人口ビジョンが頭から離れられず、また、私がちょうど団塊ジュニア世代で、雄武中学校の同級生が 120 人程いたのですが、私たちから 2~3 歳下になると 100 人を割り込むという時期でもありましたので人口のことを書きました。

「産めよ増やせよ 戦時中 産みたい産もう これからは」

皆様が自然に子どもを産んで育てたいというまちづくりができればと思い、少し雑な表現かもしれませんが書かせていただきました。

(佐々木財務企画課長)

先ほどのまちの木や花とかの話が出ていましたので、それに掛けてまちの鳥「カッコウ」についてつくってみました。私、出身が雄武町で実家が開生という地域であり、小さい頃のことで思い出したことがありましたので、それを歌にしてみました。

「初夏思ふ カッコウ鳴く声 山々に 未来に残せよ 永遠に」

(今中主任研究員)

ありがとうございます。素敵な歌が多くできましたので、これらに私が少しコメントをつけますので、次回は中身について検討をしていただきたいと思います。次回も行いたいと思っていますので、本日つくることができなかった方につきましては、宿題として次回持ってきていただきたいと思います。また、次回のための歌のストックの用意もお願いいたします。

(河島会長)

今回、1 時間半程度の会議になりました。深く考えても言葉が出てこない世代や、どんどん言葉が生まれてくる世代がいたり色々な方々がいたと思いますが、この雄武町をこれからも良くしていこうという思いは、皆様一緒だと思います。

次の会議は年明けの予定ですので、またタイミングが合いましたら、どうぞ出席いただきたいと思います。それではこれで終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。